

項目	確認事項	届出内容
	大学等名1(代表大学等)	四天王寺大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	シテンノウジダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F127310108125
	大学等名1(代表大学等) 学校本部所在地	大阪府
	大学等名1(代表大学等) 学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ I・II
	学部・研究科等名	経営学部
	担当教職員名・役職	富田美幸(助教)・東野國子(講師)
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	117
	受入企業等数	68
基本情報	受入企業等名	<ul style="list-style-type: none"> ・羽曳野市役所 ・藤井寺市役所 ・松原市役所 ・柏羽藤消防組合・藤井寺市商工会 ・株式会社スーパー・コート・株式会社ナフコ ・株式会社フジタ ・株式会社ワークアカデミー ・ ・大阪信用金庫 ・SMBC日興証券株式会社 ・JAグループ和歌山 ・あいおいニッセイ同和損保 ・株式会社ベオスアイティーホールディングス ・株式会社キナン ・株式会社関西マツダ ・コートヤード・バイ・マリOTT新大阪ステーション ・株式会社山晃住宅 ・吉川運輸株式会社 ・錦城護謨株式会社 ・村本建設株式会社・大阪信用金庫・大阪石材工業株式会社 ・大成温調株式会社 ・小野谷機工株式会社 ・ACrews株式会社 ・NSW株式会社 ・一般財団法人大阪労働協会 ・ウインクルム株式会社 ・カンメタエンジニアリング株式会社 ・マツダ紙工業株式会社 ・レオニス株式会社 ・株式会社 名畑 ・株式会社COGウェブサービス・羽曳野市役所 ・藤井寺市役所 ・松原市役所 ・柏羽藤消防組合・藤井寺市商工会 ・株式会社スーパー・コート・株式会社ナフコ ・株式会社フジタ ・株式会社ワークアカデミー ・ ・大阪信用金庫 ・SMBC日興証券株式会社 ・JAグループ和歌山 ・あいおいニッセイ同和損保 ・株式会社ベオスアイティーホールディングス ・株式会社キナン ・株式会社関西マツダ ・コートヤード・バイ・マリOTT新大阪ステーション ・株式会社山晃住宅 ・吉川運輸株式会社 ・錦城護謨株式会社 ・村本建設株式会社・大阪信用金庫・大阪石材工業株式会社 ・大成温調株式会社 ・小野谷機工株式会社 ・ACrews株式会社 ・NSW株式会社 ・一般財団法人大阪労働協会 ・ウインクルム株式会社 ・カンメタエンジニアリング株式会社 ・マツダ紙工業株式会社 ・レオニス株式会社 ・株式会社 名畑 ・株式会社COGウェブサービス ・株式会社DISCOVERY SUPPORT ・株式会社Minadia ・株式会社Nine ・株式会社UP ON THE BRIDGE ・株式会社イベント21 ・株式会社アトムチェーン本部 ・株式会社ウラカワ ・株式会社エスビジョンエンタープライズ ・株式会社グラフィック大阪支店 ・株式会社ジェイランド ・株式会社すずらん ・株式会社スリーエム ・株式会社タイムワカイ ・株式会社ベストサービス ・株式会社リゾートライフ ・株式会社ロードカー ・株式会社ワーキング・ビー ・株式会社旭東金属 ・株式会社健康まんてん ・株式会社高洋商会 ・株式会社松屋(焼肉特急・カルビの王様・和匠肉料理松屋) ・株式会社日本トランスネット ・株式会社柳田製作所 ・岸和田商工会議所 ・紀州ファスナー工業株式会社 ・九喜ポンプ工業株式会社 ・社会医療法人ペガサス ・常磐精工株式会社 ・西垣靴下株式会社 ・渡辺パイプ株式会社 ・南タクシー株式会社 ・有限会社ピッコロ ・有限会社ムーブオン

項目	確認事項	届出内容
	産学協議会の整理上の類型	2.タイプ2(キャリア教育)
	キャリア形成支援活動の分類	7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動
	上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)	8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターン
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	①グループワークによる企業・業界の市場調査による研究成果発表会の実施。 ②地域イベントの企画・立案内容についてのプレゼンテーションを実施③就業体験中の業務従事で発生する具体的な問題解決能力育成のためのワークを実施。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 7.当該キャリア形成支援活動は、授業期間中に実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	本科目は、3年次夏学期に必修科目として開講している。 15回の授業において事前学習を行ったうえで、夏季休暇中に5日間以上の就業体験を実施している。事前学習では、業界研究・ビジネスマナー・コミュニケーション能力育成等をはかり、学生の主体性に基づきより高い就業意識と職業観の育成や専門分野への理解を促すことを目的としている。さらに事後学習による振り返りを実施し、職業観の育成にも力を入れている。 (但し今年度はコロナの影響により一部冬学期にも実施)
3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	

項目	確認事項	届出内容
要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ等の就業体験実施期間中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している 2.インターンシップ等の就業体験実施期間中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	15回の事前学習では、業界研究、ビジネスマナー、学生が事前訪問をするための電話対応の指導と共に訪問時の注意事項等の指導、インターンシップ日誌等についての書き方指導など、企業での就業体験に必要な内容については細かく指導している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	インターンシップ中に、何か不明な点があれば担当教員に連絡を入れ、日々の就業体験状況や業務内容について相談することを義務づけている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	礼状作成指導、レポートの提出、インターンシップ日誌提出時に個別面談の実施、人数が少ないため、個別に面談を実施しながら事後学習を行ったうえ、学部内での報告会(特に学生向け)を実施。
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、キャリア形成支援活動の実施前後で回答を求めている 3.キャリア形成支援活動による到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	アンケート調査による状況把握を行ったうえで、学生のインターンシップ前後の変容を測定するため学修評価票による社会人基礎力の把握や、企業からの評価票による確認、ならびにルーブリックを使用した基本的ビジネスマナーやコミュニケーション力等の変容を測定するためのテストを複数回実施し、客観的データの結果に基づき、学生への自己理解を促している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等において就業体験を実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	事前学習15日とインターンシップ5日間の計21日間実施
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	本年度に関しては相手先の実習期間の短縮などがあり、数名の学生が複数企業で5日間以上の実習を行った。
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	5日間(複数個所で合計5日間)

項目	確認事項	届出内容
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	事前にインターンシップの意義や目的を受け入れ企業にご理解いただいた上で、受け入れ人数や時期等についてプログラムの設計段階から参画いただき調整を行っている。また、インターンシップ中や終了後にも受け入れ企業担当者と担当教員が面談を行い、受け入れに係る情報交換を実施することで、インターンシップに関わる負担感の軽減に努めている。さらに次年度に向けたプログラム設計について意見交換も行っている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.shitennoji.ac.jp/ibu/
問い合わせ先	大学等名	四天王寺大学
	担当部署名	経営学部
	担当者役職名	インターンシップ担当教員
	担当者氏名	富田美幸・東野國子
	電話番号	072-956-3181
	メールアドレス	m-tomita@shitennoji.ac.jp khigashi@shitennoji.ac.jp